



水張し田には鳥海映りゐて
田植ゑ待つなり庄内平野
(6月18日朝日歌壇掲載)

がりを優先してしまいます。
運動の苦手な私はグリーンゴルフの簡単なヨガ
だけじ奥の深い難しさに翻弄されっぱなしです。
しづれにしわ、常に行動を共にしてくれる友達
が出来たから楽しく過ぐせる事に感謝しています。
吉野(江口)由美子さんから
こんなにかば、うつも連絡あつたのがどうぞります。
第一の胸椎の圧迫骨折で2週間入院しました。
痛がつたです。
今は家でおとなしくしてます。

吉野(江口)由美子さんから

ここにちは、いつも連絡あります。第12胸椎の圧迫骨折で2週間入院しました。痛かったです。今は家でおとなしくしてます。

だから、当初目標の4万ギロを達成して終了し、筋肉増強は野菜作りの百姓へ。先輩の推薦は将棋でなく囲碁。そのポイントは、教えを請わなければならぬし、一番下手からのスタート。(①囲碁はルールを覚えれば、空間が広いので自由に打てる②相手方は人間③負けると悔しい④知力・気力が養える。晴耕雨読にピッタリです。

健康寿命73歳、平均寿命84歳の時代に私はたまたま健康体。人としてはコミュニケーション力を失えばただの生き物。動物としては動けなくなればサバンナの捷に従うしかない。これからどうんなご褒美がもらえるか楽しみです。

6月、私は車にはねられるところでした。構
断歩道を全て確認してから歩くらへ行つた時、右
肩10cmの所に白い車がせまつてひました。
知人でしたし、あやういところ、心臓が止まり
そうでした。皆様、歩いていても気をつけなく
ては大変です。

でも、私は立ち止まることなく次のステップ
へ!! 息子が予約入れていて、
6月は私の誕生日!! 息子達から祝ひとして東

副集後己

◆今回も皆様から、購読料や切手のご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

次回は大台の第10号です。皆様の多くの投稿を心からお待ち申し上げます。では、よろしくお願い申し上げます。

白川 修

下部(本間)由美子さんか【

今、市内で転装、額装を手掛けているのは「入
りも、やうちょっと頑張って、仕事続けてい
る人ですが、後を継ぐ人がいません。本当にや
たいなく、残念です。
書道展、文化祭等、口頭の成果を発表するのに
表具は大事。
いつも作品を持って来てくれるお密に「これか
のー」と応援してもらっています。

A photograph of a man with a mustache, wearing a white short-sleeved shirt and a dark baseball cap, singing into a microphone. He is standing in front of a red and white striped pole. In the background, another man is visible, also wearing a white shirt, and appears to be playing a guitar. A large, illuminated yellow and white lantern hangs above them. The setting appears to be an outdoor night event.

平澤隆吉

「ジジも大きくなり(ひく位)涼しい所を求めてあちこち家中を移動して『口々』しています。コロナがはやり4年目。友人達との旅行も出来なく、やっと決めた沖縄ツアーやキャンセルになりました。でも、足、腰丈夫で気力のあるうちに一度は行きたいと思っています。又クラス会が出来るといいですね!!

阿部(元木)由美子さんかく

黒山あわっこ、バラ園。温泉温泉（たわせなや）
一泊。龍宮城のごとく待遇に大満足。なんて、
私はしあわせ者なんだろ、感謝しかありません
でした。

次の目標は体力も衰えていく中、一日一日を
大事に生活しきる事。

80才のクリスマス会まで歩いて行くことを目標
に毎日6000歩がんばっています。やつてやる
うじゃないか。

今後も何が起ころかわかりませんが「ひとつ
がたのしみです。

白川傳記

アーティストが語る

大鳳(鶴前)荀子の解説

4年前の高校の同窓会で会った友人と話をして
いるうちに、朝日新聞の日曜版の短歌と俳句の中
から自分がこれ、と思った一首、一句をそれぞれ
メールで交換しようといふことになりました。

短歌や俳句は、お正月の百人一首や松尾芭蕉の
奥の細道の「五月雨を集めて早し最上川」を知っ
ている程度だったのですが、人様の作品の中から
好きなものを選ぶくらいなら暇つぶしにもなるか
な、くらいの気持ちだったのです。ちょうど70
才になった頃ですね。

を気にしたのが多かったのでしょうか、まったく入選の機会がありませんでした。

今年の5月友人が送ってくれた鳥海山と種まき爺さん、水を張った田んぼに移る山の姿の写真を見て1中の3年1組の教室から見た景色を短歌に詠んでみたくなりました。

梅雨が上がつて田んぼは背丈も伸びて益々青々と育つてゐることでしよう。今度はそんな歌を詠んでみたいたいと思つています。

一首、一句はがき一枚63円、お金もそんなにかからぬし、季節や言葉に気に掛けることも多くなってきたような気がします。

短歌と俳句七十の手習い、まつたくの我流で進

大内葉子さんから
3年一組のみなさま
書中お見舞い申し上げます。
「ひりこ」第の歌にメッセージを載せて頂くことに。
今回もですが、躊躇してしまいました。
特技や趣味等もいじ数十年、何もないものですか
う!!
ただ、趣味といえるかわかりませんが、テレビ
での絵画鑑賞を楽しみにしていります。
かつて、古希を間近にした頃に、上野公園内の
美術館を初めて訪問できた時は大変感激したこと
が思い出します。そこには、ムンクの子供は画家の

大鳩(斎藤)敬子さんかう

黒山まわって、バワ園。温海温泉（たちばなや）一泊。龍宮城のごとく待遇に大満足。なんて、私はしあわせ者なんだろ、感謝しかありませんでした。

次の目標は体力も衰えていく中、一日一日を大事に生活しきる事。

80才のクラス会まで歩いて行くことを目標に毎日6000歩がんばってます。やつてやうじゃないか。

今後も何が起けるかわかりませんが「ぶりと」がたのしみです。